



末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより

令和5年 7月号

～ 150th Anniversary ～

体験学習から

校長 高山 和宣

4、5、6年生の修学旅行・体験学習が5～6月に行われています。6年生は日光へ、4年生は上郷へと出かけ、5年生は明日愛川へ出発します。子どもたちは、当日に向かうまでの学習を含めて、目を輝かせながら主体的に活動を行っておいりました。

各学年とも、学習面では、体験を通して自然環境や歴史などについて関心を深めたりクラスでの総合的な学習の時間などのねらいを達成したりすること、生活面では、集団や周りの環境等を意識して主体的に行動したり友達との協働の中で互いのよさを見付けたりすることが大きなねらいでした。

自然散策や施設などの見学の際には、天気などに悩まされる学年もありましたが、子どもたちは生き生きと活動をしていました。

散策で水筒の飲み物が少なくなってしまう子や道を間違えて元の道に戻り、口をぎゅっと結んで歩き続ける子などもありました。普段歩き慣れていない子どもたちにとってはきついところもあったとは思いますが、しかし、ゴールの場面などでは、互いに気づかい合い、励まし合いながら、自分たちでやりきった充実感も表情の全面に表れていました。修学旅行や体験学習が終わった後、子どもにこれらの学習が成功だったかと問いかけると「校長先生、もちろん成功ですよ。もう一度行きたいです。」という答えが返ってきました。さて、5年生の答えはどんな言葉でしょうか。

場所や活動は違っても、4、5、6年生の一人ひとりが修学旅行や体験学習をよりよいものにするために、自分が主体となってそれぞれに意味のある役割や使命を担い、自分で考え、友達と協働し真剣に学習を重ねてきました。きっとその前向きな取組が、子どもたちの言うところの「修学旅行・体験学習の成功」を支えているのだと思います。

「成功」の反対語は辞書を見ると「失敗」とありますが、実生活の中では「成功」の反対の意味は「挑戦しないこと」なのかも知れません。自分の目標に向けて努力を重ねたとしても思い通りになるかは決まっていることではありません。しかし「どうせだめだから」と思って挑戦しなければ絶対に目標は達成できません。

本校の「かかわる わかる かがやく 末吉っ子」というキャッチフレーズは主体的に取り組み、自ら判断し、挑戦し続けていくという意味も含まれています。

これらの体験学習を通して、つながりあい、夢中になって前向きに取り組んだことで、数字には表れないかも知れませんが、子どもたちはとても大きく成長したと思っています。

体験学習では、ご家庭の皆様や地域の皆様には様々な場面で多くのご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

学校の電話は、平日の夜間および早朝（17：30～7：45）、土、日、国民の祝日、長期休業中の閉庁期間等はメッセージ対応としております。ご理解ご協力をお願いいたします。